

## はじめに

平素より大変お世話になっております。

兵庫県立粒子線医療センターは、2001年4月に開院し本年で17年目となります。この間、近隣のみならず全国の医療機関からのご紹介で約9,000例もの症例に陽子線治療または重粒子線治療（以下、粒子線治療）を施行させていただきました。ご紹介いただいた医療機関の皆様に改めて御礼申し上げます。

さて、粒子線治療の一番大きな問題は高額治療費を患者様にご負担いただくことでした。患者様のご負担を軽減するためには、粒子線治療がX線治療に勝るとも劣らない優れた放射線治療であることを科学的に証明し保険診療にすることでした。全国の粒子線治療施設一丸となり努力した結果、2016年4月から骨軟部腫瘍に対する重粒子線治療と小児腫瘍（限局性の固形悪性腫瘍）に対する陽子線治療が保険適応となりました。さらに、2018年度の診療報酬改正で保険適応疾患が増え、経済的心配をせずに粒子線治療を受けていただける患者さんが増加しています。今後、粒子線治療がX線治療と同程度の多くの患者さんに受けいただけるために努力を継続していく所存です。

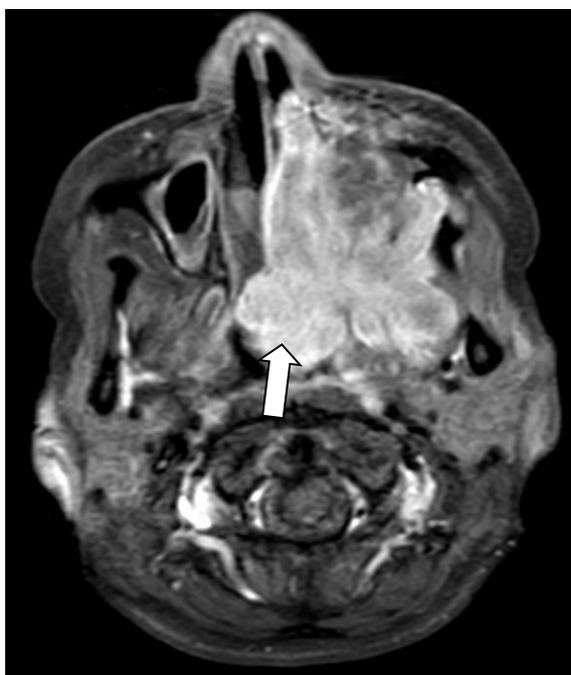
現在、粒子線治療は、保険診療として施行できる疾患、先進医療として施行できる疾患、自由診療として施行できる疾患、施行できない疾患に別れており、ご紹介いただく際、混乱されると思います。

そこで紹介いただく場合の参考になるよう【粒子線医療センターだより】を定期的に発行することとしました。第1号は、本年4月から保険診療となり紹介が増えている頭頸部腫瘍の実例をご紹介させていただきます。

今後も兵庫県立粒子線医療センターをよろしく願いいたします。

院長 沖本 智昭

最近ご紹介いただいた症例の紹介



造影 T1 強調画像（治療計画時）

左側上顎を主体に左側眼窩、上咽頭、側頭下窩に及ぶ長径 74mm の平滑筋肉腫を認めました。

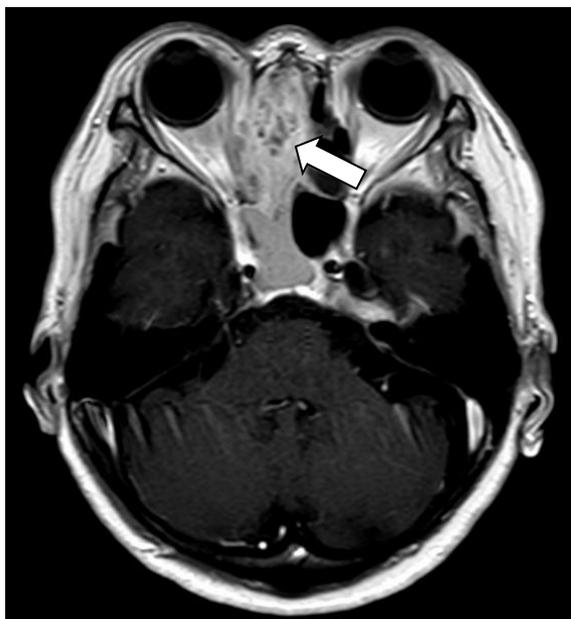
重粒子線 70.4GyE/32fr で治療を行いました。



T2 強調画像（治療計画時）

右側耳下腺癌の局所再発で長径 33mm の腫瘍を認めました。

重粒子線 70.4GyE/32fr で治療を行いました。



造影 T1 強調画像（治療計画時）

右側鼻腔内に長径 43mm の悪性黒色腫を認めました。  
重粒子線 70.4GyE/32fr で治療を行いました。



T2 強調画像（治療計画時）

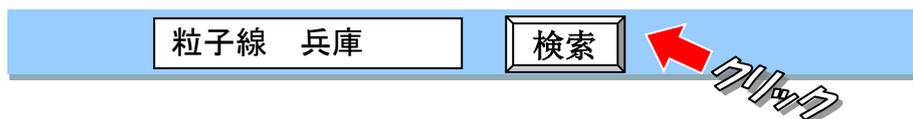
斜台部に長径 25mm の脊索腫を認めました。  
視交叉・脳幹との近接を認めたため、紹介元にて減量手術を施行して頂き、  
重粒子線 70.4GyE/32fr で治療を行いました。

## 陽子線治療・重粒子線治療の診療区分について

- A. 陽子線治療及び重粒子線治療が保険診療で施行可能な疾患  
手術による根治的な治療法が困難である限局性の骨軟部腫瘍  
頭頸部悪性腫瘍（口腔、咽喉頭の扁平上皮癌を除く。）  
限局性及び局所進行性前立腺がん（転移を有するものを除く。）
- B. 陽子線治療のみが保険診療で施行可能な疾患  
小児腫瘍（限局性の固形悪性腫瘍に限る。）
- C. 陽子線治療が先進医療で施行可能な疾患  
頭頸部腫瘍（脳腫瘍を含む。）、肺・縦隔腫瘍、消化管腫瘍、肝胆膵腫瘍、泌尿器腫瘍、乳腺・婦人科腫瘍又は転移性腫瘍（いずれも根治的な治療法が可能なものに限る。）
- D. 重粒子線治療が先進医療で施行可能な疾患  
肺・縦隔腫瘍、消化管腫瘍、肝胆膵腫瘍、泌尿器腫瘍、乳腺・婦人科腫瘍又は転移性腫瘍（いずれも根治的な治療法が可能なものに限る。）
- E. 陽子線治療及び重粒子線治療が自由診療で施行可能な疾患  
上記の保険診療、先進医療で施行できない疾患だが、当院、兵庫県立がんセンター、兵庫県立リハビリテーション西播磨病院、神戸大学附属病院、IHI 播磨病院の医師による協議（カンサーボードと呼ばれています。）で認められた疾患

## ご紹介の手順

当センターのHPより、疾患ごとの様式をダウンロードし FAX で送信ください。



### ●セカンドオピニオン

医療機関・患者様のいずれでも予約ができます。

HPから様式をダウンロードし、FAX送信していただくか、お電話でも予約可能です。

### ●メール相談

粒子線治療の適応についての御相談を随時受け付けております。

詳しくはHPをご参照ください。

### 兵庫県立粒子線医療センター

〒679-5165

兵庫県たつの市新宮町光都 1-2-1

電話番号:0791-58-0100

FAX 番号:0791-58-2600

<https://www.hibmc.shingu.hyogo.jp>